

愛媛県の森

愛媛県の森は、マツの植栽と伊予の青石を中心にデザインされています。

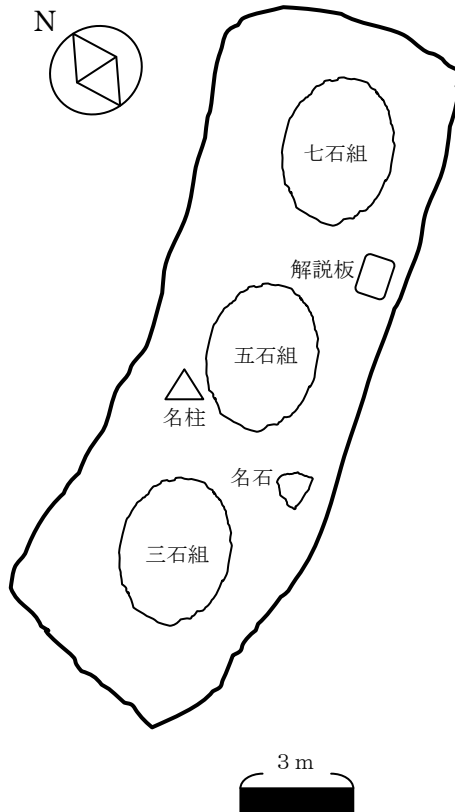
県庁所在地が松山市と言うだけあって、愛媛県には松が多く、県民にたいへん馴染み深い木です。

伊予の青石は十五石で、東から七・五・三の配石になっています。



県の木 マツ(マツ科)

県下には歴史的にいわれのある松の名木が数多く有ります。源義経がヨロイをかかけたというヨロイカケ松、朝倉村の根上り松、松山の与力松など、愛媛県の風景を彩っています。



伊予の青石 (緑泥片岩)

その名の通り青・緑色の石で、変化に富んだ美しい模様が特徴です。珍しい銘石で、多くの有名な庭園で、景石などに用いられています。

